

(Lonely Night Gathering)

さみしい夜の句会報 第1333号 (2023. 9. 3-2023. 9. 10)

- ◆ 参加者・何となく短歌、しまねこくん、海馬、汐田大輝、石川聡、  
system、古城、岩瀬百、水の眠り、西脇祥貴、池田 突波、カゲ  
キ・ちやげぞう、元さん、ダリア88、森砂季、円山すばる、西  
沢葉火、もふもふ、上崎、太代祐一、温温、涼閑、凧ちひろ、  
阿筈蒼奈、鴨川ねぎ、うつわ、石原とつき、円山すばる、星野響  
しろとも、おかもとかも、すみれ、蔭一郎、はゆき咲くら、さー、  
片羽あじ、雲雀、Born Slippy(モンモン)、輪井ゆう、ゆりのは  
な、夏西マグマ、Tomo、りゅうせん、雷(らい)、ばさ、燕雀之  
心、修平、ひうま、涼、donkey、碧乃、そら、花野玖、あやめ、  
saku` crazy lover、佐竹紫田、霧雨魔理沙、まつりへきん、馬  
勝、東ころ、雪上牡丹餅、藤野、藤井卓、岡部杏里、鷺沼くぬ  
ぎ、月波与生(六五名)

◆ 7・7、5・7・5 (川柳・俳句)

- 憎しみも引力だろう青林檎 馬勝  
継子史にヴァイオレットが綴じられた 西脇祥貴  
内側に手形の多い砂時計 蔭一郎  
Killing a mosquito in a taxedo 海馬  
borders on a baby on a baby chair 海馬  
みんなしてスカイツリーの福笑い 太代祐一  
お話にならないケーキ食します 太代祐一  
8の字を快傑ゾロにしてあげる 森砂季  
棺桶に電池を入れる蓋がある 蔭一郎  
スパイスの奥のほうから低気圧 上崎  
湖に赤塚不二夫の反世界 汐田大輝  
散らかした風習つちふまずに刺さる おかもとかも

コスプレの云急ぐ野分跡 岩瀬百

秋灯し妻の寝言の小匙ほど 池田 突波

熱波師にサブリミナルな本能寺 りゆうせん

くよくよともぐもぐが仲睦ましい 岩瀬百

鼻息の音して地球温暖化 修平

笑われて踏み落とされた蛾の夕日 修平

案山子にもヤクルト置いて行きますね しまねこくん

秋の浜取つては返す鬼の首 しまねこくん

繋がった夜にパスタを巻き付ける 東ころ

夕空に蜻蛉さがして眼病む SYUSYU

泣き濡れてコバエの落ちた酒を飲む カゲキ・ちやけぞう

白露の節エロ画像を送りました ダリア 220

まだ青いカナリアだけで 西沢葉火

二度寝して白露はけふか昼の膳 もふもふ

旅人を見送る窓の夕茜 涼閑

やるせない夜を静かに閉じ込める 阿笠香奈

郷愁はホットケーキの香とともに 鴨川ねぎ

月にぎる猿と戯れ「狂気」聴く うつわ

夜の果てただ柘榴粒降りしきる 星野響

台風の雨掻き分けて水槽へ さー

シーシャ屋で吐露する白露 片羽雲雀

宿題の無い夏の一層淡い 輪井ゆう

秋晴に孤独遊ばす小部屋かな Tomo

○○の走りだったと路地の裏 雷

秋の水肩甲骨の回らない ひうま

足の爪塗り直したる饞暑かな 花野玖

ふたすぢのみちを歪めて恋とせむ あやめ

星月夜わが夢ひとつ放ちたり 佐竹紫巴

京アニの 公判終わる まで生きる 霧雨魔理沙

くもり止めボタンを押して月曜日 まつりぺきん

半熟の卵白に似た朝の愛 雪上牡丹餅  
星の下 あなたを探す 金木犀 藤野  
慌てているねあなたの後ろの鳶 藤井卓

バカヤロウシンデシマエと羽化をする 月波与生

◆ 5・7・5・7・7 (短歌)

来年の手帳が並びだす。月人それぞれの時間軸がある  
saku  
いきおいでキーボード打つ夜半すぎ朝のコーヒーdelete  
できた 水の眠り

今何をしてゐるだらうと思ふ時貴方も私を思つて欲しい  
何となく短歌

真つ白い秋茄子ひかる高円寺純情商店街スーパーに 石川  
聡

終わらない起伏に飲まれ振り返る後ろ姿に手を伸ばしてる  
古城

雨上がり街角が風ぐ交差点暴れた夏を止めたシグナル 元  
さん

ありがとう屋根ある場所と寝る部屋を消えない傷を涙と怒  
りを 円山すばる

誰よりも輝いていた貴方見て流れるように去った青春 風  
ちひろ

われらの内緒のオードブルの同時通訳に月々(ま、いつか)  
石原とつき

番いのカラス 番いのアゲハ私は何処へ行けばいいのかし  
らね しろとも

森の奥白く細い煙のぼる今日もあの子は魔女を燃やした  
すみれ  
手鏡を手回ししては彩変わる灰色雲もネズミの国に はゆ  
き咲くら

失った、そう何もかも おめでどう プレゼントするね孤  
独だけど 比島アルト

さみしさを売りに来ました秋思とか代わりに良夜とか欲し  
いです ゆりのはなこ

浅茅生の篠突く雨に沈む日に余る想ひそ一つ溢るゝ ぱさ  
体温で曇りし眼鏡布で拭く生の息吹と立ち位置を知る 燕  
雀之心

朝食をカフェでしようと思気込んで水も飲まずに家を出発  
涼

踏まれても踏まれてもなほ身を固め轍となりて人を導く  
燕雀之心

色なき風 主人(あるじ)うしなひしデスクには万年筆の亡  
き骸のある 碧乃そら

いいじゃないキミとボクとのあいだなら大波小波そのチラ  
リズム crazy lover

◆詩

連れてって

連れてって

龍神さんの背に乗って

何処か遠くへ

連れてって (温(ニ))

ひとりになりたい

ひとりが好き

つぶやいて  
ひとりにならず  
よかったじゃん  
見てくれるんだもん (donkey)

◆作品評から

borders on a baby on a baby chair 海馬

↳ Much violence, but true. Only we can't see that,  
or ignore that. (西脇祥貴)

握手したあと手に残る秋の海 蔭一郎

↳ コロナ以来ほとんど握手をしなくなった。のは自分だけでもしかしたらみなさんは握手もハグもキスもコロナに関係なくバンバンしてたのかもしれない。じっと手を見る。  
(月波与生)

浮ついたシャトルバスとは縁を切る りゅうせん

↳ イベント会場と繋がるシャトルバスには浮ついた人たちでいっぱいだが、そんなものに乗せるバスとは縁を切るというのである。大衆の中の孤独。(月波与生)

踏まれても踏まれてもなほ身を固め轍となりて人を導く  
燕雀之心

↳ なるほど。さみしいうたです。(岡部杏里)

秋の浜取つては返す鬼の首 しまねこくん

↳ 一寸法師に桃太郎かよ (鷺沼くぬぎ)

内側に手形の多い砂時計 蔭一郎

　　～勝手に川柳句として読みました。  
砂時計の内側に手形がある！

　　なんだか不思議で不穩 w

崩れながら落ちる「砂時計」と、なにがしか生きていたこと  
との痕跡の象徴のような「手形」との取り合わせが拔群。

直接の感情表現が皆無なのに、きゅっと切なくなるのはなぜ  
だろうか？ (石川聡)

笑われて踏み落とされた蛾の夕日 修平

　　～屈辱的な経験をした時の、悔しさと自嘲の混じった感情は、蝶でありたい自分と蛾のような自分とのギャップを感じる瞬間の感情に似ているのかも知れません。

そして、そんな蛾の翅にある目玉のような模様は、なぜだか夕日のようにも見えて。(まつりぺきん)

お話にならないケーキ食します 太代祐一

　　～この場合の「お話にならない」は「議論に値しない」、「喋らない」、「小説や絵本等に出せるものじゃない」といろいろ解釈できそうですが、このケーキはどれにせよ寂しい味がしそうですね。みんなで食べてもなぜか孤独の味がしそうなケーキです。(森砂季)

くもり止めボタンを押して月曜日 まつりぺきん

　　～月曜日の初めは仕事や学校で誰でも憂鬱になり得る。

その時に酔い止めや風邪薬のような即効性を以って、心のモヤを霧消するボタンが目の前にある。サザエさんを鑑賞し終えた人々にそんなボタンを渡したい所存。(修平)